

# 第5回 市長とお茶カフェ☆トーク

平成24年9月6日(木) in 清水庁舎 第1会議室

平成24年度 第5回の「市長とお茶カフェ☆トーク」は、

“清水 日本語交流の会”の皆さんと市長が

「地域在住外国人の日本語支援、交流を考える」をテーマに意見交換を

しました。



静岡市は、世界に開かれたまちだと思いますか。

点数をつけるとしたら 10 点満点で何点？（市長）

6 点～11 点まで様々なご意見がありました。平均 8 点！

【参加者】

清水日本語交流の会のメンバー

13 人

←【参加メンバー&市長

## 【清水 日本語交流の会】

活動をはじめて22年目になる。会員（講師）は約60名。今まで、54カ国2,718名を対象に51,965回の授業を実施した。日本語検定1級合格者は5名。2級合格者は9名を出し、オリジナルのカルタや教材などもつくっている。

また、勉強以外の活動として、80名以上が参加するホームパーティーを行っている。ホームパーティーでは各国の料理を用意し、外国人には書道や着付を体験してもらい交流している。20周年時には記念事業も実施した。

## 【清水 日本語交流の会】

外国人の子供の場合、家庭の生活環境や親の勤務先などによって、勉強だけでなく、人生が大きく左右されてしまう。

## 【市長】

これからは、外国人にとって暮らしやすい、住みやすい環境を整える事も必要。静岡市を世界水準の都市にしたい。

## 【清水 日本語交流の会】

企業によって外国人の待遇が随分と異なる。日本語を学ぶ時間に時間外の手当てを支給してくれるところもあれば、本人や家族の事を考えずに、突然、異動させられてしまうケースもある。どうしても、外国人から先に異動させられてしまう。親が転職になってしまえば、子供は嫌でもついていかなければならない。

### 【市長】

ある浜松市の一部の市営住宅は、かなりの割合で外国人が居住している。そうになってしまうと、異文化理解が進まないため、日本人と外国人の調和が進まなくなってしまう。

静岡市としては、学習意欲の高い留学生に静岡へ来てもらう働きかけをするため、留学生特区ができないか検討している。



### 【清水 日本語交流の会】

日本語学習の支援としては、センター方式と学校訪問指導があるが、この制度に問題を感じる。センターに通えない生徒も多い。しかし、学校訪問は例外なく回数の制限がある。学校の先生が、私たちの活動を知り、依頼してくるケースもあるが、もっと私たちを利用してほしい。

### 【清水 日本語交流の会】

学校の先生から「学校訪問が終わった後はどうしよう」など、困った意見を聞く。

私たちなら、教え方やスケジュールなど、学校の要望に応じて対応する事ができる。また、費用面でも、かなり経済的に活動することができる。

### 【清水 日本語交流の会】

外国人の生徒が、日常会話ができるからといって、テストができるとは限らない。学校は日常生活の中でスムーズに会話ができるということで安心してしまうことがある。しかし、学習用語の理解ができていなかったり、テストをすると、ほとんどの問題が解けないなど、学力不足を見落としてしまう事がある。

テストができないという事は、その後の進学や就職の困難に繋がってしまう。

### 【市長】

ボランティアとは直訳すると「自発性」。これは奉仕とは違う。マネジメントの面から、ボランティアに全てを任せる事は難しいが、有償ボランティアをうまく使い、皆さんのように責任を持ったボランティア活動をしてもらいたい。

みなさんの熱い気持ちを、どう行政に反映していくか、これから考えたい。

